



3市町村の地域資源を活用し、返礼品を共同開発 ふるさと納税共通返礼品に関する合意書調印式

本町・喜多方市・北塩原村は、平成29年にそれぞれが喜多方地方定住自立圏の形成に関する協定を締結し、さまざまな課題に対し連携して取り組んできました。

昨年、喜多方市からふるさと納税共通返礼品の開発の提案を受け、本年度より共同で開発を行ってきました。この返礼品を10月12日より提供開始することを受け、同日に合意書への調印式が喜多方市で行われました。式では、各市町村長が合意書へそれぞれ署名し、今回開発した返礼品の紹介が行われました。今回より3市町村のふるさと納税で提供されることとなったのは、「会津発季節の野菜だより」（3市町村の野菜と米の詰め合わせ）と、「三味一带 会津ラーメン味巡りセット」（塩、醤油、味噌味のラーメン詰め合わせ）の2品です。



▲写真左から北塩原村・遠藤和夫村長、喜多方市・遠藤忠一市長、薄町長

IBKO 第1回国際コンベンション空手道選手権 會士館 全国大会への出場を報告

10月25日、會士館の秦貞継館長と目黒心温さん（写真中央）と五十嵐潤さん（写真右）が町役場を訪れ、11月に行われるIBKO 第1回国際コンベンション空手道選手権大会への出場を薄町長に報告しました。會士館では、この日來庁した2人を含む5人が県大会で好成績を収め、「組手」と「型」の部門で全国大会出場を決めました。

薄町長は「引き続き練習を積んで、しっかり食べて試合に臨んでください」とエールを送り、2人に激励金を手渡しました。



町の魅力発信と観光の活性化を推進 西会津応援大使に佐藤さんを再委嘱

町では、豊かな自然や歴史、文化、観光などの情報を広く発信し、町のイメージ向上と観光の活性化や企業誘致についての情報を得るため、平成30年度より町にゆかりのある町外在住者を「西会津応援大使」として委嘱しています。

今回、以前より応援大使を務めていた町出身の佐藤悟さん（仙台市在住・エスオーインターナショナル(株)代表取締役）の任期を更新し、11月6日に委嘱状交付式を町役場で行いました。任期は令和7年6月末までとなります。



町の活性化に向けて連携して取り組む 埼玉女子短期大学と連携協定を締結

町では、安座自治区のおとめゆりの保護活動などを通じて交流している埼玉女子短期大学と地域連携に関する連携協定を締結しました。

10月22日には、埼玉女子短期大学（埼玉県日高市）において、協定締結式が行われ、同大学の榎沢栄一学長と薄町長が協定書にそれぞれ署名を行いました。本協定では、これまで行ってきたおとめゆりの保護活動のほか、地域の活性化や教育研究活動の推進、SDGsの普及啓発などを目的としており、町の活性化に向けて互いに協力しながら取り組んでいきます。



ボランティアなどの地域活動への取り組みが評価 いきいき長寿県民賞を橋谷田さんが受賞

県では、中高年や高齢者の社会参加を始めとした“生きがいと健康づくり”を推進することを目的に、年齢を感じさせない生き方をする高齢者や団体を表彰する「いきいき長寿県民賞」を毎年実施しています。

10月19日に25回目となる表彰式が行われ、橋谷田百合子さん（4町内・写真中央）が表彰を受けました。本町からの受賞は橋谷田さんが初めてで、同月24日に町役場を訪れ、大竹亨副町長に受賞を報告しました。

橋谷田さんは、精神保健福祉ボランティア「トライアングルの会」をはじめとするボランティア活動に積極的に取り組んでいるほか、町食生活改善推進員や老人クラブ活動など多岐にわたる活動が評価されての受賞となりました。



自身3冊目となる郷土史を出版 長谷沼さんが著書を寄贈

10月20日、長谷沼清吉さん（小清水）が町役場を訪れ、自身が執筆した「家世実紀に見る山村の暮らし 会津西北部と小川庄」を町に寄贈しました。自身3冊目の自著となる本書は、会津藩の正式な歴史書である「会津藩家世実紀」から西会津町に関する記録を抜き出し、長谷沼さんが約3年の歳月をかけてまとめたものです。

本書は、にしあいづ観光交流協会の窓口で購入できるほか、西会津中学校図書館でも読むことができます。





地域と連携した「課題解決学習」などの取り組みが評価

西会津小学校・中学校に時事通信社教育奨励賞優良賞

9月26日、時事通信社が毎年発表している創造性に富んだ特色ある教育で顕著な成果を挙げた学校をたたえる「教育奨励賞」において、西会津小学校・中学校が優良賞を受賞しました。

10月31日には、時事通信社福島支局の後藤正明支局長が西会津中学校を訪れ、西会津小・菅家由紀子校長と西会津中・佐藤崇史校長に表彰状などを贈りました。受賞にあたり、後藤支局長からは「西会津小の地域学習や西会津中のキャリア学習など地域社会と連携した教育カリキュラムが高い評価を得た」との講評がありました。



▲写真左から後藤支局長、西会津小・菅家校長、西会津中・佐藤校長

町の教育活動や施設などを視察

県教育委員会・大沼教育長が来町

10月28日、福島県教育委員会の大沼博文教育長(写真右から2番目)と県関係者が来町し、本年度からスタートした第7次福島県総合教育計画に係る先進地視察の一環として、本町の教育活動を視察しました。

当日は、江添信城教育長や家庭教育相談室こころのオアシスの紫藤真理子相談員から町の教育活動に関する説明やそれに対する意見交換などが行われました。このほかにも、西会津小学校・中学校の校舎やこころのオアシス相談室を見学し、各学校の様子などの説明も行いました。



▲こころのオアシスを視察する様子

町教育委員会委員の改選

町教育委員会委員に高橋さんを再任

町教育委員会委員の任期満了に伴い、町では9月議会定例会で同意を得た高橋誠さん(柴崎)を任命しました(2期目)。これを受け、10月17日に町役場で辞令交付式が行われました。式では、薄町長から高橋さんへ辞令書が手渡され、「民間での経験を活かし、新たな視点で町の教育発展に力を貸していただきたい」と訓示がありました。

高橋さんの任期は、令和4年10月15日から令和8年10月14日までの4年間になります。



長年にわたり高齢者の生きがいつくり活動に貢献

町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰を受賞

11月8日に東京都で開催された全国老人クラブ連合会創立60周年記念大会において、西会津町老人クラブ連合会が厚生労働大臣表彰・優良老人クラブ(連合会の部)の表彰を受けました。

同月11日、町老人クラブ連合会の荒海清隆会長と役員の方々が町役場を訪れ、今回の受賞について報告しました。昭和40年に結成された本連合会は、各種スポーツや奉仕活動などに積極的に取り組み、高齢者が健康で長生きできるまちづくりに貢献しています。



▲写真左から薄町長、荒海会長、二瓶穰副会長、橋谷百合子女性部長、齋藤知一事務局長

手塩にかけた自慢の米を出品

西会津一うまい米コンテスト

町では、西会津産米のおいしさを客観的に評価し、町内外への情報発信による知名度の向上と販売強化につなげるため、「西会津一うまい米コンテスト」を開催しています。

第9回を迎えた今回は「コシヒカリ部門」に110点、「こだわりの品種部門(コシヒカリ以外の町産米)」に11点の出品があり、食味分析計や実食審査で受賞者を決定しました。

11月11日には、本コンテストの表彰式が町役場で行われ、最優秀賞に輝いた三瓶鉄江さん(写真右から2番目)と受賞者の皆さんに表彰状が贈られました。薄町長は「西会津産米の評価は年々高まっている。今後も皆さんのこだわりが詰まった米作りを頑張ってほしい」とあいさつしました。



【コシヒカリ部門】(敬称略)

最優秀賞：三瓶鉄江(出戸)

優秀賞：目黒輝夫(牛尾)、渡部栄次郎(出戸)、江川誠作(牧)、長谷勉(高目)

【こだわりの品種部門】(敬称略)

奨励賞：高橋正(柴崎、品種：ミルキークイーン)

「地産地消」の食育活動を学校給食から推進

西会津産米を使った米粉パンを学校給食で提供

11月15日、西会津産コシヒカリを使用した米粉パンが町の学校給食で初めて提供されました。町では、平成11年度から地元産米などの利用促進と保護者の負担軽減を目的とした学校給食費への補助事業を実施しており、米やミネラル野菜など多くの町内産農産物を利用しています。

米粉パンは「甘くて米の香りがして美味しい」と児童生徒の皆さんからも好評で、今後も月1回程度提供される予定です。





建設水道課からのお願い

冬期間の生活に関するお知らせ (除雪・水道)



除雪作業に対するご理解とご協力をお願いします

◆路上駐車は絶対にしないでください

1台でも路上駐車があると、そこから先の除雪作業が行えない場合があります。夜間の路上駐車は絶対しないようお願いします。

◆除雪時の作業音にご理解ください

通勤や通学に支障が出ないように、深夜から作業を実施していますので、除雪時の作業音はご容赦ください。

◆屋根からの雪は各家庭で片付けてください

屋根からの落雪や雪下ろしで道路に雪が落ちる場合は、通行の支障とならないよう各家庭での処理をお願いします。

◆障害物には赤い目印を付けてください

除雪作業により破損する恐れのある構造物などは、赤い布切れなどで目立つよう表示してください。

◆スノーボールの保全にご協力ください

除雪作業を安全に行うため、道路の路肩に紅白のスノーボールを立てています。除雪作業の「道しるべ」ですので、倒れているボールを発見した場合は、立て直しにご協力をお願いします。

◆除雪車両には絶対に近づかないでください

除雪車両に近づくと大変危険ですので、絶対に近づかないでください。

◆田畑に砂利などが入ることがあります

細心の注意を払い作業にあたっていますが、雪に付着した砂利などが田畑に入ることがあります。自治区などでの砂利拾いにご協力をお願いします。

〈問い合わせ先〉

建設水道課 管理係 ☎45-4530



冬期間の水道使用料と使用上の注意点をご確認ください

◆冬期間の水道料金について

12月分～3月分の水道料金、は積雪などにより検針が困難になるため、9月～11月の平均使用水量をもとに算定した概算額を請求します。その後、4月に検針を再開してから過不足分を精算しますので、ご了承ください。

◆冬期間の水道使用の注意点

凍結防止のため、次のことを確認してください。

- ①電熱ヒーターの電源を入れる (電熱ヒーターの点検もしてください)
- ②不凍水抜栓の作動確認を行う (雪による破損防止のため、雪囲いもしてください)
※古いものは新しくしてください
- ③メーターボックスを保温する (メーターボックスに布や発泡スチロールを入れる)

◆漏水の点検について

水道管の老朽化や凍結などにより、気付かないうちに宅内で漏水している場合があります。昨年

も凍結による事故が多く見られました。その場合、水道料金が高額になってしまいますので、時々、メーターや家の周りを確認してください。

※漏水を発見した場合は、町指定の給水装置工事業者か建設水道課に連絡をお願いします。

◆冬期間に家を留守にする場合は…

降雪前に水道メーター休止の手続きを行ってください。降雪後に手続きを行う場合はメーターボックス周辺の除雪をお願いします。

凍結により水道管が破裂したり、凍結防止のために水道を出したままの状態にすると、水道料金に反映され、検針再開時に高額な水道料金が請求される場合がありますので、不凍水抜栓や電熱ヒーターの設置をお勧めします。不凍水抜栓等の設置については、建設水道課または町指定の給水装置工事業者に問い合わせください。

〈連絡・問い合わせ先〉

建設水道課 上下水道係 ☎45-4534

各界の著名人が町内の生産者と交流

西会津産地ツアーを初開催

町では、地場産品のPRや地域産業の活性化のきっかけとするために、町の風土体験や農林産物の生産者などとの交流を目的とした「西会津産地ツアー2022」を10月13日から14日にかけて開催しました。

当日は、首都圏などから料理研究家や作家など各界の著名人約20人が来町しました。参加した皆さんは、町内の農家を訪問して意見交換を行ったり、雪室貯蔵施設や加工所などを視察したりしました。13日の夜には、町内生産者や事業者との情報交換会が開かれ、西会津産米や野菜、そば、馬刺しなど町を代表する料理が振る舞われ、町の特産品を通じて交流が図られました。



▲町の風土や郷土料理について説明を受ける参加者の皆さん (13日の昼食会より)

町長コラム その29



「町はもつと積極的に町の情報発信をすべきだ」という町民からの意見があった。私も日頃から少し感じているところがあり、全庁を挙げて取り組むよう課長会議などで指示をした。そんな中、町の農林産物(米や郷土食)をPRする事業が開催された。1つ目は「西会津産地ツアー」である。地場産品の風土の体験と生産者との意見交換を行い、農林産物のブランド化や販売ルートの拡大、地域産業の振興を目的に都市圏からテレビ関係者、スーパーマーケット、飲食店経営者らなど約20人が参加した。当日夜にはさゆりオートパーク管理棟で情報交換会があり、新米のおにぎりや生そば、郷土料理が振る舞われ大変盛り上がった。帰り道には道の駅にしいづで多くの農林産物を購入していただいた。2つ目は、東京都で開催した「2022表参道西会津ナイト」である。西会津産米をテーマに、郷土食や地酒を提供したイベントで、予定の50人を大幅に上回る89人の参加があった。これまで西会津産米の魅力発信に携わってくださったさまざまな業種の皆さんが参加し、生産者による特色ある米作りの紹介や会場での購入受け付けなどを通して、西会津産米に対する高い評価を得ることができた。ふるさと応援寄附金などへの今後の発展に期待しているところである。

今は情報化の時代。いろいろなツール(手段)を使って情報発信を有効に行うことが、まちづくりに直結する。今後も、関連する事業をしっかりと確実に進めていきたい。

西会津町長 薄反喜

以下は有料広告です。詳細は広告主に問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

〈問い合わせ先〉

企画情報課 広報広聴係 ☎45-4536



就学前の子どもを持つ保護者の皆さんへ

令和5年度こゆりこども園の入園申し込みを受け付けます

町では、幼稚園と保育所の特長を併せ持ち、その児童に合った保育・幼児教育を受けることができる認定こども園「西会津町こゆりこども園」を開設しています。こゆりこども園では、来年4月からの入園申し込みを受け付けています（現在「こゆりこども園」を利用している園児については、園を通してお知らせします）。

新たにこども園を利用するには、子どもの年齢と保育を必要とする理由や保育の必要量を判断するために町の「教育・保育給付認定」を受ける必要があります。教育・保育給付認定を受けるためには、子育て支援センター（こゆりこども園内）や町役場福祉介護課に備え付けの「施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書」および下記の必要書類の提出が必要となります。また、入園判定については、保育の必要性や家庭の状況などを踏まえて町が判定し、その結果については後日お知らせします。



◆必要書類

- 施設型給付費・地域型保育給付費等教育・保育給付認定申請書
 - 保護者の就労証明書
 - マイナンバー確認用紙（令和4年1月2日以降に転入した場合のみ）
- ※申請書および関係書類については、町ホームページからダウンロードできます。

◆入園できる児童

生後6か月～就学前の児童（基準日：令和5年4月1日）
※0歳児については生後6か月を経過してからの受け入れが可能になります。

◆申込期限

12月22日（木）まで

〈提出・問い合わせ先〉

子育て支援センター ☎45-4332



◀町の子育て支援サイトからも確認できます

〈問い合わせ先〉

☎45-4461
（一社）西会津ケーブルネット



詳しくはしあいづニュースワイドでお知らせします。

◆年末年始特番

※放送時間に変更になる場合があります。

◆町議会定例会

生放送 午前10時～
再放送 午後6時～

ケーブルテレビ
さゆりチャンネル
12月の放送案内

お知らせ
INFORMATION

生理用品を
無償配布します

長引くコロナ禍において、さまざまな事情で生理用品を手に入れることが困難な人に対し、生理用品の無償配布を行います。

◆配布内容

生理用ナプキン1パック（昼用22枚入）

※配布は1人2セットまで。

※在庫がなくなり次第終了。

◆受取時間

午前8時30分～午後5時15分（平日のみ）

◆受取方法

町役場福祉介護課窓口で、本紙記事または町ホームページ掲載記事をスマホなどで女性職員に提示してください。※配布時に氏名や住所の確認は行いません。

〈問い合わせ先〉

福祉介護課 福祉係
☎45-2214



ホームページからも確認できます